

葉山町議会議長
伊東 圭介 様

学校教育における新型コロナウイルス感染症対策充実に向けた 財政支援の拡充に関する陳情書

陳情の趣旨

2020年2月26日の臨時休業要請や新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出により、休業等における子どもたちの学習機会の保障や心のケアなどの子どもたちへの支援や再開に向けた学校教育のあり方について、目まぐるしく状況が変化中、すべての学校で教職員が一丸となって対応をすすめてきました。

再開後の学校は、文部科学省の「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における『学びの保障』の方向性等について（通知）」等に示されている通り、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子ども一人ひとりに今まで以上に寄り添うきめ細かな指導を行う必要があります。しかし、現在の学校体制では充分に対応することは困難です。

すでに「新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金」等により、未指導分の補習等のための学習指導員の配置や「GIGAスクール構想」（※補足資料参照）施策の前倒しがすすめられています。

学校での感染拡大を防止し、学びの質を保障するためには少人数指導の導入等が必要であり、そのための大胆な教員の加配措置が必要です。また、感染防止対策などの追加的業務に対応するための人的配置の拡充も欠かせません。そして、感染防止対策に関わるマスク・消毒液や指導上必要な備品等の購入がさらに増えることが想定されます。

「GIGAスクール構想」も端末配置といった導入予算だけでなく、機材のメンテナンス、教材開発にかかわる人的配置等、運用上必要とされる予算確保も同時にすすめられることが、効果的な活用には不可欠です。

前例がない緊急事態の中で、学校が子どもたちや保護者の不安に向き合うとともに、「社会総がかり」で子どもたちのゆたかな学びの支援を継続して行う必要があります。

つきましては、下記事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定に基づき国の関係機関への意見書提出を陳情致します。

陳情項目

1. 子どものいのちと心のケアを含む心身の健康保持及びゆたかな学びの保障に向け、きめ細かな支援や配慮のための人的配置を拡充すること。
2. いかなる状況の中でも学びの継続を保障するため、必要な環境整備を国の財源ですみやかに行うこと。

2020年5月26日



住所 横須賀市日の出町3-19-16

氏名 三浦半島地区教職員組合 執行委員長 明口 祥幸 (印)

(TEL 046-824-2442)